

78 days with lovely 12 students

引率者 中野 千鶴子

私にとっては4度目となるこの派遣プログラム、今年も新たに選ばれた生徒たちと共に、研修を重ね、期待に胸を膨らませ、ベルフォンテンに行ってきました。同じプログラムでも、毎年それぞれのメンバーのカラーがあります。また、ベルフォンテンで発表する内容も異なります。

研修を重ね、旅に出るまでは、全体的にまじめで大人しかった今年の生徒たち・・・

でも、アメリカに到着してからは、日本では見られなかった程のハイテンションな状態となり、びっくりしました！何が彼らをそんなにオープンにしたの！？私が不思議に思う間にも、仲間同士の絆は、どんどん深まっていくようでした。

以下は、生徒たちが選考試験に選ばれてから、この事業を終えるまでの軌跡です。

《選考試験—5月22日（土）13：00～16：30 鈴鹿市役所》

筆記試験と日本語・英語による面接を行い、応募者19名の中から、中学生・高校生を、それぞれ6名ずつ選考しました。

筆記試験もさることながら、より意欲・自己アピール度の高い生徒が選ばれました。

《保護者説明会—5月27日（金）18：20～20：00 ジェフリー鈴鹿》



派遣生とその保護者に、国際交流協会がどんな所か、活動内容の紹介をする他、出発までの流れやホームステイについて細かく説明しました。

また、三岐観光サービスさんやRHトラベラーの方にも来て頂き、パスポート申請につ

いての手続き等の説明や、TSAロックについての説明などしていただきました。

《研修会—5月28日（土）～7月23日（土）までの計11回》

毎週末、土曜日から日曜日にメンバーで集まって、ベルフォンテンで発表するパフォーマンスの練習をします。

どんなことを発表したいか、各自考えて来てね～と、宿題を出しておいたら、皆、それは沢山のアイデアをもって来てくれました。

それぞれ出たアイデアを繋げていったら、とっても素敵な内容でまとまりました。

*エコなうちわと風呂敷の紹介

今年日本は、3月11日に起きた東日本大震災による影響から、大規模な節電に取り組んでいます。そこで、まず「うちわ」を紹介することになりました。

そして、節電=節約=エコということで、日本の文化の中で育まれてきた「風呂敷」の紹介もすることになりました。

「うちわ」は手作りすることになりました。

うちわの骨に和紙を張り、そこに、鈴鹿墨で漢字や絵を書きます。世界に一つしかない「オリジナルうちわ」です。



↑和紙に描く漢字や絵のデザインを考えている所



うちにあるうちの紙をはがし、骨だけにして持って来てもらいました。竹の骨を持ってきてくれた子もいてなかなか風情有りました。



漢字は、ホストにプレゼントする分は、各自が考えて書き、ベルフォンテン市長や教育長に渡す分は、書道の得意なしーちゃんが担当しました。文字は皆で出した字を書きました。



鈴鹿墨は涼さんが持って来てくれました。ピンクや青・緑と、カラーの墨があるんだね!!



「どうする〜?」とイラスト集を参考に話し合い↑



絵が苦手で苦戦する桃ちゃん↑

アイデアが決まったら、もくもくと書き始める碧ちゃん→



メンバー最年少(中1)の綾乃ちゃんは、絵が得意なのか、すいすいと絵を描いていきます。微妙に出る、鈴鹿墨の緑色が、いい感じです。→



そろそろ、全員、デザインが決まったかな…？



作品はこんな感じです♪



だるま、紋章、
朝顔、うさぎ、
きんぎょ…
アイデアは様々で
面白い！！



出来上がり～♪
4回目の研修で
完成しました！

それぞれ、うちの
表と裏です。



「風呂敷」は、実際に色々なものを包んで見せることにしました。
大小の箱、ボトルを1本・2本、すいか、それから、「風呂敷」という言葉の起源とな
った、お風呂（銭湯）に行った時の風呂敷の使い方など。

さっそく、風呂敷の講習会をしました。



小林豊子きもの
学院の橋本先生
と山本ゆきさん
が、風呂敷の包
み方の講習に來
てくれました。
こうした研修を
通して、生徒達
は、改めて、日
本の古き良き文
化・伝統に触れ
、学ぶことがで
きます。



昔、まだ各家に
お風呂がなかつ
た時代、人々は
銭湯に行ってい
ました。
たらいにタオル
や石鹸を入れて
風呂敷に包ん
で持って行き
ました。



脱いだ服は、また風呂敷にた
たんで包みます。
その時、風呂敷に印があれば、
↑その角を目印になるように
包みます。
そして、たらいを持って、
お風呂に入っていくのでした。



脱衣所では、風
呂敷で自分の
スペースを取
り、その上で
服を脱ぎまし
た。



真剣に説明を聞く生徒たち



包んだ風呂敷の端を腕にしっかりと当て、下から箱を持てば、
形が崩れることなくきれいに持てます。という説明に、真似て
見せるしーちゃんと彩乃ちゃん。

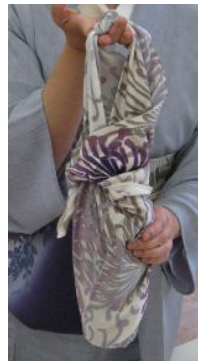
さっそく自分たちでやってみましょう！



個別に指導していただく様子



すいか・ワインボトル・箱など、色々な形のものを包みます。



包めるよう
になりました！

これを、実際
にベルフォン
テンで上手
に披露でき
るかな…？

忘れないよ
うにネ！



*エンターテインメント

日本の文化紹介として、他に二人羽織も紹介することになりました。担当は二人しかいない男子メンバー、涼さんとわたるくん。道行のコートを橋本先生からいただき、それで練習をしました。かさばるけれど、ベルフォンテンにも、これを持って行くことになりました。



これは、生徒達の激励に来てくれたSEFのマークさんとトロイさんが、涼&わたるに代わって、二人羽織に挑戦している様子です。何の違和感もなく、さらっとやってのけました！！さすが！！

フェアウェルパーティのパフォーマンスは、マツケンサンバを踊ることになりました。何か盛り上がるものを・・・と考えていたら、鈴鹿市=ブラジル=サンバの繋がりで、マツケンサンバが候補にあがり、せっかくなので、「浴衣を着て踊ろう！」ということになりました。

ひかりちゃんが、ヒップホップダンスの経験があるということで、振り付け&指導を買って出てくれたので、ひかりちゃんについていくことになりました！

ひかりちゃんは、上手に全体の振り付けを考えて来てくれて、うまくみんなに動きを指導してくれました。それまで、まじめに大人しく研修を重ねてきたメンバーも、マツケンサンバの練習になると、笑顔が溢れ、楽しそうに体を動かしていました。

やっぱり、歌やダンスというのは、人を明るくしますね！

ひかりちゃんの指導ぶりは、とっても頼もしかったですよ！



**振り付けの初日。神戸コミュニティセンターの外の駐車場スペースで、振り付けを開始！！
まずは、ステップから覚えます。**



ひかいちゃんの振り付け指導によって、少しずつ、形が出来上がっていきます。
みんなも、覚えが早い!! 若いって素晴らしいです!!



マツケンサンバのビデオで腰元ダンサーズが持っていた飾り棒を作ってみました!
雰囲気が出てきて、いい感じでしょ!?



女子が練習中、ずっと別で練習していた男子メンバー。かつらをかぶり、いよいよ女子と動きを合わせます。涼さんはなかなか歌詞とステップが合わず、苦勞しましたネ!! 航君はわりと余裕だったかな?

* 歌は「Top of the world」

歌のプレゼントはカーペンターズの「Top of the world」を歌うことになりました。候補には、「イマジン」もあったけど、明るい雰囲気からか、多数決で、「Top of the world」に決まりました。

歌詞の暗記は、中学生グループと高校生グループの対抗戦にした所、中学生が圧勝！！さすが、若いだけあって、暗記するのも早い早い！！高校生はなかなか覚えられず、苦戦してましたね～。



激励に来てくれた方々に、歌を聞いてもらいました。



体でリズムをといながら、笑顔で楽しく歌います。歌をプレゼントすることが、そのまま練習に繋がります。

* たくさんのゲストが激励に来てくれました！

協会職員で日系3世のハルミさんが、ブラジルのお話をしに来てくれました。他の国の事情を知ることにより、ワールドワイドな視点が持てるようになります。日本の常識が、世界の常識ではないことに気づき、違いを受け止める度量を身につけてもらいたい。そんな思いで、このような機会を設けました。



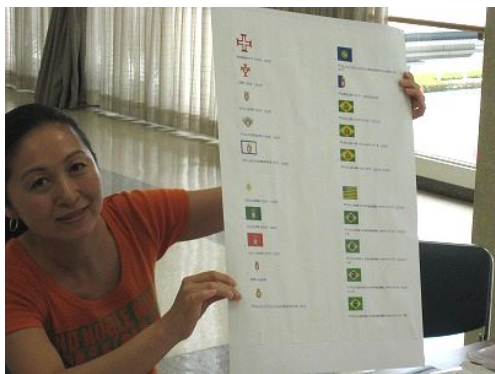
まずは、出発式の練習を兼ねて、ハルミさんに自己紹介！



日本とブラジルの面積の違いを説明するハルミさん



ブラジルの国旗の星の数は、ブラジルの州の数だそうです。真ん中の文字は、「秩序・進歩」。緑は森林、黄色は金と鉱物資源を表しているそうです。



国旗は、何度も変わってきたそうです。



興味深いお話を真剣に聞く生徒たち。



「フラジルでないとと思うものを選んで下さい。」と30枚のプリントを配るハルミさん。生徒からは半数以上の枚数の風景が出されました。雪景色、見事な寿司の折詰、コースト沿いに並ぶ高層ビル群。まるでアジアの景色のような、ひしめきあって建つ住宅街、ゴミの山…実は、30枚全ての風景がフラジルのものでした。日本の22.5倍あるフラジルだけに、その全てをあわせもっているのですね。

国際理解を進めるにはまず、ステレオタイプな思考やものの見方を改めなければいけませんね！

「フラジルでは、場所によっては、夜間運転する時は、信号が赤でも止まってはいけません。」というお話もありました。強盗に襲われるから…という説明に、みんなびっくり！「アメリカだって、間違っただけに一步入れれば同じだよ。」という私の言葉に、これからアメリカに行く派遣生たちの間には、緊張感が走りました。(ベルフォンテンは安全だけだね～)



*取材



鈴鹿コミュニティFM「めっちゃすずか」の美華さんに、インタビューを受けています。←↓



鈴鹿ホームニュースの中川さんにも、鈴鹿市長の役になってもらって、出発式の自己紹介の練習をしました。

* 鈴鹿市教育委員会で働くSEFメンバーも応援に駆けつけてくれました。

生徒達の、自己紹介や発表するスピーチの原稿をチェックしてくれました。
また、原稿を読んで、発音の仕方を確認してくれました。

ありがとうございました！！



トイ・スミスさん(左)とマーク・リードさん(右)

* 平成22年度の先輩メンバーの激励&アドバイス

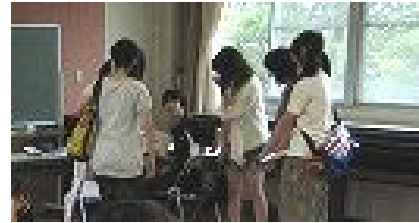


なんと7名も来てくれました！！結束力の固かった昨年メンバー。久しぶりに集まって、嬉しそうでした。顔つきもなんだか、昨年よりしっかりしているような・・・(笑)やはり、経験をした者は、一回り成長するのかな？先輩としてのアドバイスも、とても気持ちがこもっていて、頼もしかったよ！



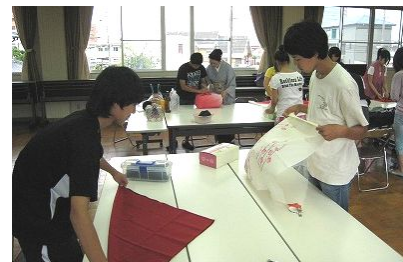
みさちゃんが
持って来てく
れた差し入れ
を、嬉しそうに
開けていま
す！
みさちゃん、
ありがとう！

先輩の感想やアドバイスを聞いて、バトンタッチされた今年のメンバー。
不安な気持ちはあるけれど、期待がより大きくなったのではないかな？



解散しても帰らない先輩達が
ちらほら…(笑)
いっくんとゆうとくんは、今年の
メンバーが習っているのを見て、
こちら側で自分たちも参加して
います。いじらしいこと！(笑)

昨年何度も写真を撮っていたことを思い出したかな？
先輩は、後ろで恒例の全体写真を撮るのが楽しそう！！



みんな来てくれてありがとう！！



かったんは、今年のメンバーがマツケンサンバの練習をするのを見て、「いいなあ〜。私ももう一回ベルフォンテンに行きたあ〜い！！」と、とっても羨ましがっていました。
ゆうとくんは、「千コさん、出発する日、見送りに行きます！」と言ってくれたり、カメラを持って、みんなの姿を追いかける私の似顔絵を黒板に書いていたり…
(ちゃんとカメラ持ってる…)
久しぶりに仲間会えた嬉しさと、ベルフォンテンのなつかしさが相まって、なかなか帰らず、最後まで残っていた3人でした(笑)

* S I F A 職員のくんぺいお兄さんの興味深〜いお話



今回、新たな試みとして、みんなでベルフォンテンマップをつくることになりました。ベルフォンテンで、色々な場所に連れて行ってもらったら、写真を撮って、貼り付けようね！というお話をしています。



そして、くんぺいお兄さんの海外での体験談をふたつほど聞きました。スペインに留学中、ベネズエラに旅行していた時、街角で検問にあい、パスポート不携帯だったため、連行されて、自分は日本人だと言っても信じてもらえず、アメリカに密入国しようとしている中国人と間違われたこと。その際、彼を助けたのは、たまたま持っていたシティバンクのキャッシュカードの裏にJapanの文字があったことでした。だから、必ずパスポートは携帯しないとイケない、というお話でした。(笑)

そしてもう一つのお話は、コロンビアに遊びに行ったとき、強盗ふたりに襲われて、バッグを持って行かれた際、追いかけて行って、パスポートと帰りのバス賃だけは返してくれるように交渉したところ、パスポートと航空券、空のバッグを返してくれた、という体験談。ここでは、コミュニケーションがとれる語学力があれば、何とか道が開ける、というお話でした。海外では、話が出来るといことが、命をも助ける場合があります。みんな、身を乗り出して、興味深々で聞いていました。



* 昨年の面接官の阿部ミチエさんも激励に来てくれました！



ミチエさんは、日系ブラジル人で、昨年同様今年も研修会に激励に来て下さり、ブラジルのお話を英語でしてくれました。ミチエさんは、ブラジル人学校で、英語を教えています。生徒達にとっては、英語を聞き取るいい練習になるので、今回もまた、ミチエさんにオールイングリッシュでお話をしてもらいました。まずは、ミチエさんの家族構成、いつ日本に来たか、日本の最初の印象、驚いたことなど、色々お話をしてもらい、後から、聞き取った内容を英語で質問して、生徒に答えてもらいました。みんな、ちんぷんかんぷんで、こんな調子でホストのお宅で大丈夫だろうか・・・と不安になったりもしたけれど、まずは聞き慣れる所から始めよう！と気を取り直して、一生懸命耳を傾けました。

ミチエさんは、鈴鹿市は在住外国人が多いことから、お互いが分かり合うには、まず、相手のことを理解しようと努めて下さい。もし、何かその人が理解できない行動をとったとしても、必ず理由があるはずなので、その理由を知るところから始めて下さい。理由がわかれば、理解が進み、わかり合える、と言っていました。そして、無視をせず、話す努力をして下さい。とも言っていました。また、「ベルフォンテンに行ったら、とにかく積極的に話すように、そして、心で感じて来て下さい。」とアドバイスして下さいました。





ミチエさんは、毎月一回、桑名のOK牧場というピザハウス屋さんで、ブルーグラスのライブをやっています。
生徒達が「Top of the world」の歌のプレゼントをしたら、お返しに、「Keep on a sunny side」という歌を歌ってくれました。
この歌は、世界大恐慌の際、アメリカで流行した曲だそうで、「常に明るく行こう!」という曲だそうです。9.11のテロの後も歌われていたそうです。そして、今回、ミチエさんは、東日本大震災で傷ついた日本の為に、この曲を選んで歌ってくれたのでした。Thank you so much.

* 浴衣の着付けの練習



日本人として、浴衣くらい自分で着られるようになっておこう!と浴衣を着る練習をしました。
事前に研修を受けて、完璧に浴衣が着られるようになったしーちゃん(上右)が中心となって、にぎやかに練習!!
中1の彩乃ちゃんが苦戦してたネ!
浴衣の着方・風呂敷の包み方など、アメリカへ行くことによって、逆に日本の文化を学び、身に着ける機会も多くなります。
ひとつひとつが良い経験です。

* フォークダンス

マイムマイムを踊ることになりました。フォークダンスは、もう練習するまでもなく、みんな踊れるので、気分転換にみんなで踊る程度に留まりました。

しかし、足のステップを英語で説明するのが少々難しく・・・
右足を左斜め前に置いて・・・Cross your right foot over your left など、事前に言い方を考えていたのですが・・・本番は、「Look! Do like this!」で終わってしまいました(笑)

全11回の研修を重ね、準備は万端!整いました。いよいよ出発です!